

2024年7月26日  
CFO・常務執行役員 高波 徹

## 24年度第1四半期 決算概要

## 目次

- 1. 24年度第1四半期 決算概要 2
- 2. 24年度 通期業績見通し 8
- 3. 参考資料 10

為替レート (対円)	FY23 1Q 実績	FY24 1Q 実績
USDドル	138.1円	156.5円
ユーロ	150.4円	168.4円
人民元	19.6円	21.5円

## 24年度第1四半期 決算概要

緩やかな需要回復・独自施策効果等により四半期売上高過去最高を更新  
攻めの施策に関わる支出が継続も数量増・商品MIX・為替等で収益性改善

百万円

項目	FY23 1Q	FY24 1Q	
	実績	実績	対前年増減率
売上高	89,866	99,527	+10.7%
営業利益	8,999	11,828	+31.4%
利益率	10.0%	11.9%	+1.9pt
経常利益	9,837	12,916	+31.3%
当期利益	6,087	9,251	+52.0%

## 24年度第1四半期 事業別売上高・営業利益

FA : 中・日を中心に需要を獲得し、通信関連需要(中)が大きく寄与  
 金型 : 中・亜・日で自動車関連需要が回復基調、欧米の低迷をカバー  
 VONA: 亜をはじめ海外は総じて堅調、IT強化の先行費用により収益性低下

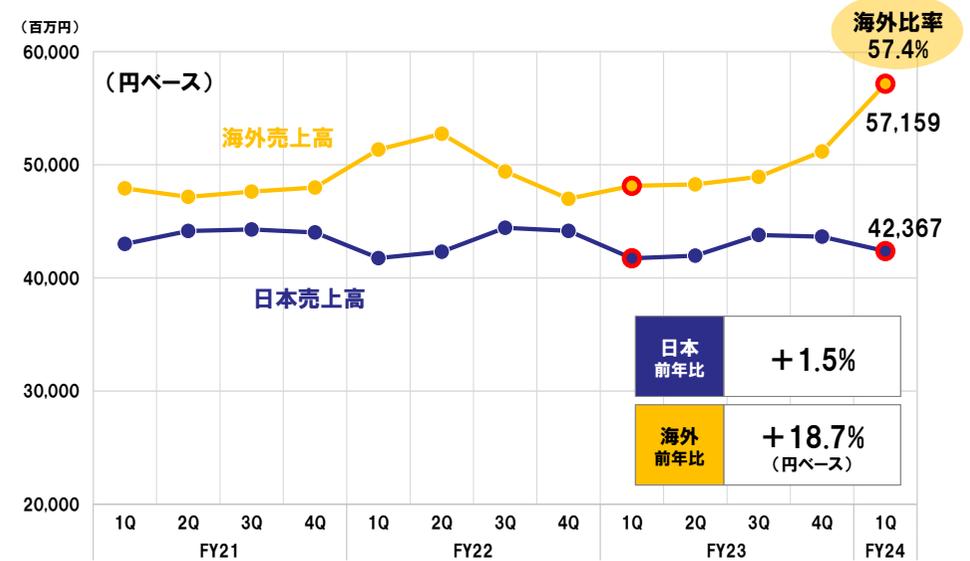
項目	売上高			営業利益				
	FY23 1Q実績	FY24 1Q実績	対前年増減率 円ベース (※)	FY23 1Q実績		FY24 1Q実績		対前年増減率 円ベース (※)
				利益率	利益率	利益率	利益率	
合計	89,866	99,527	+10.7% (+4.7%)	8,999	10.0%	11,828	11.9%	+31.4% (+12.0%)
FA事業	29,093	33,559	+15.4% (+9.1%)	3,639	12.5%	6,210	18.5%	+70.7% (+51.9%)
金型部品事業	19,569	21,887	+11.8% (+3.1%)	2,083	10.6%	2,441	11.2%	+17.2% (▲4.2%)
VONA事業	41,204	44,080	+7.0% (+2.4%)	3,276	8.0%	3,176	7.2%	▲3.1% (▲22.1%)

※現地通貨ベース

4

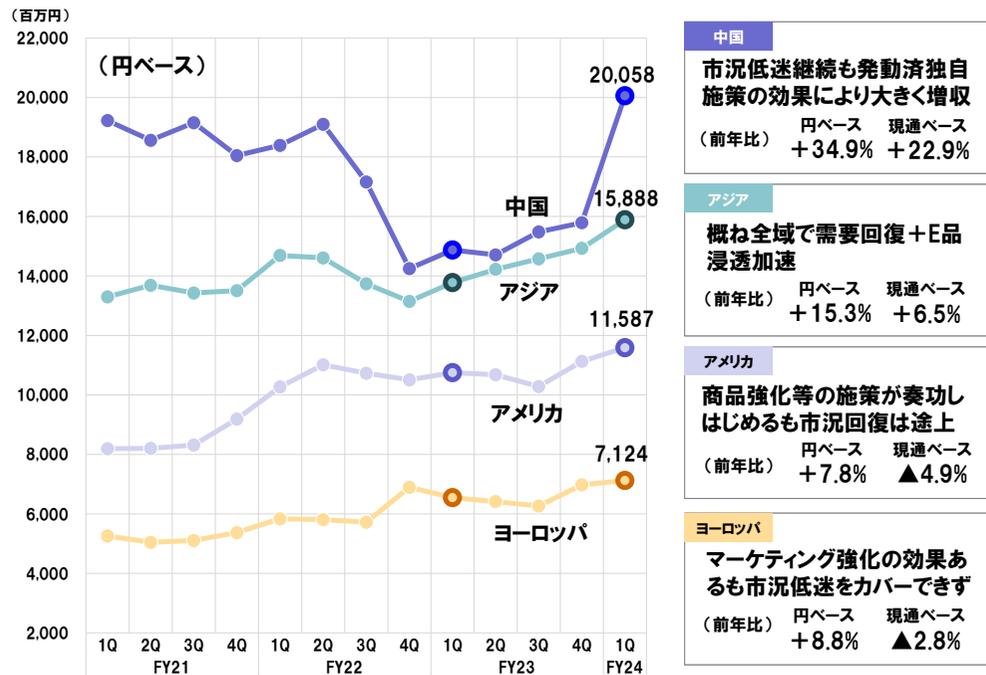
## 24年度第1四半期 日本・海外売上高

日本: 自動車関連需要を中心に緩やかに回復も前年比微増収  
 海外: 中亜がけん引し為替効果もあり大きく増収、欧米は低調に推移



5

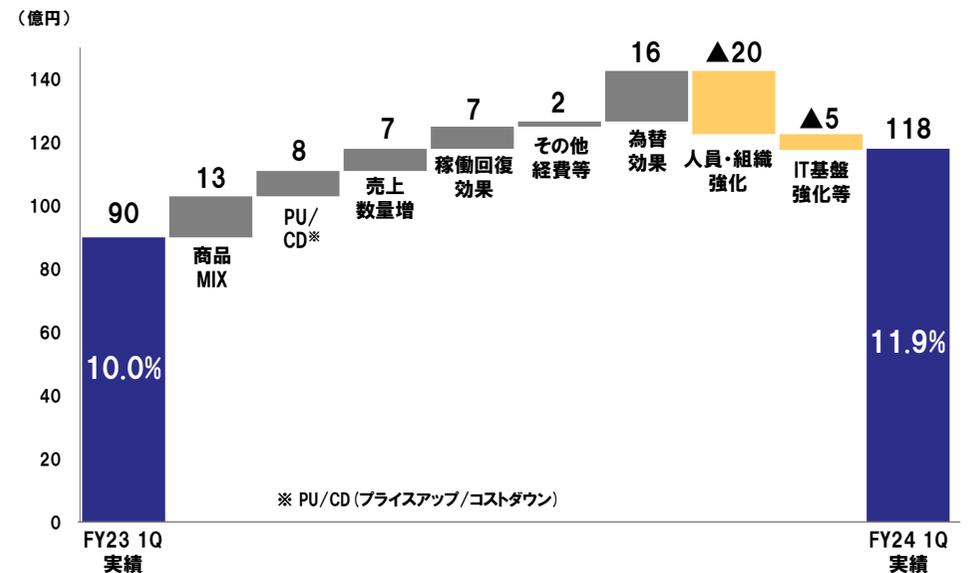
## 24年度第1四半期 地域別売上高



6

## 24年度第1四半期 営業利益増減分析(対前年)

商品MIX・収益改善に加え、数量や稼働回復および為替効果により増益モデル進化に不可欠なIT基盤・人員組織強化を継続するも収益性改善



7

## 24年度 通期業績見通し

8

## 24年度 通期業績見通し

足元需要は緩やかに回復するも市況の不透明性を鑑み予想は据え置き  
モデル進化に向け攻めの施策を継続実行し、その他収益管理を徹底

百万円

項目	FY23	FY24		
	実績	計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	367,649	393,000	+6.9%	+7.1%
営業利益	38,365	46,000	+19.9%	+20.5%
利益率	10.4%	11.7%	+1.3pt	+1.3pt
経常利益	41,265	47,400	+14.9%	-
当期利益	28,152	34,400	+22.2%	-

9

## 参考資料

10

## 為替レート・感応度

為替レート (対円)	FY23 実績	FY24 想定
	通期	通期
USドル	144.4円	145.0円
ユーロ	156.8円	157.0円
人民元	20.1円	20.0円

	為替感応度	
	売上高	営業利益
影響額目安※	約20億円	約6億円

※全取引通貨が平均して1%変動した場合

11

## 部品調達革命:meivy

- 機械部品の3DデータをアップロードするだけでAIが自動で即時見積もり、独自のデジタル製造システムにより最短1日での出荷を実現するプラットフォーム(無料)



部品点数1,500点の設備の部品調達の場合



12

## 品揃改革:エコミー品

- 中国発、ミドルレンジ需要に向け新たに投入した価格競争力の高い商品シリーズ



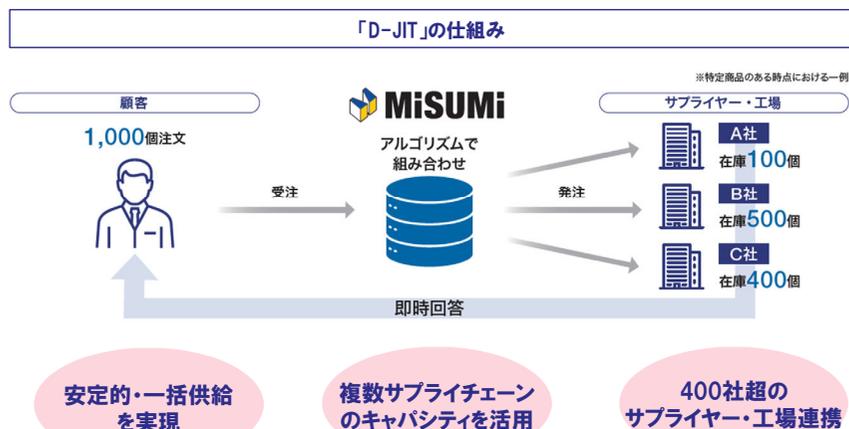
### 既存品との比較

	既存品	エコミー品
精度 (内径公差)	-0.009~0	-0.012~+0.003 (ミドルレンジ精度)
価格指数	100	30~50

13

## 数量対応力アップ:D-JIT

- 顧客の希望数量に対し、世界中に点在する複数のサプライヤー在庫を瞬時に組み合わせ、価格と納期を自動で表示。「少量短納期のミスミ」から「大量でもミスミ」へ



※D-JIT=「デジタル版のJust in Time」

14

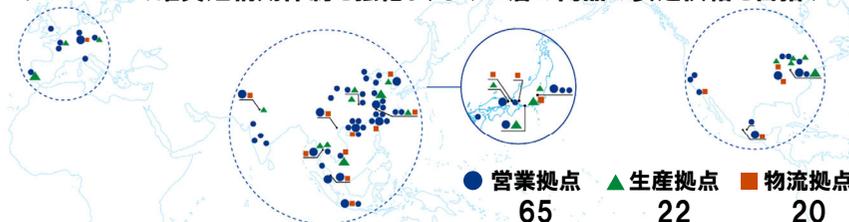
## 事業基盤

### IT

- 持続的な成長に向けて積極的なIT投資を実施
- FY21から基幹システムの全面刷新を開始。新機能開発スピード3倍、開発コスト3分の1を目指す。4年間で計200億円規模の投資を予定

### 生産・物流

- グローバルで確実短納期体制を強化し、より一層の商品の安定供給を目指す



**生産**  
グローバル5極生産体制を構築。有事の際には、直ちに生産工場を切り替えることが可能

**物流**  
自動化を導入したオペレーションをグローバル展開。生産性向上(質)と拠点拡張(量)の両輪で物流基盤強化

15